

2008年3月期 第1四半期 決算概要

2007年7月30日

NECエレクトロニクス株式会社

<http://www.necel.com/ir/ja/>

I. 2008年3月第1四半期 業績概要

- ✓ 売上高・損益とも前回ガイダンス(5/14)より若干上回る実績

II. 2008年3月期業績見通しアップデート

- ✓ 足元は期初想定を若干上回り推移しているが、現時点で業績予想は据置き
- ✓ 実行ベースでは、受注拡大を背景に、第2四半期での営業黒字化を目指す

III. 業績改善に向けた取り組み

- ✓ 2月22日発表の新経営方針を着実に実行中

I. 2008年3月第1四半期 業績概要

II. 2008年3月期業績見通しアップデート

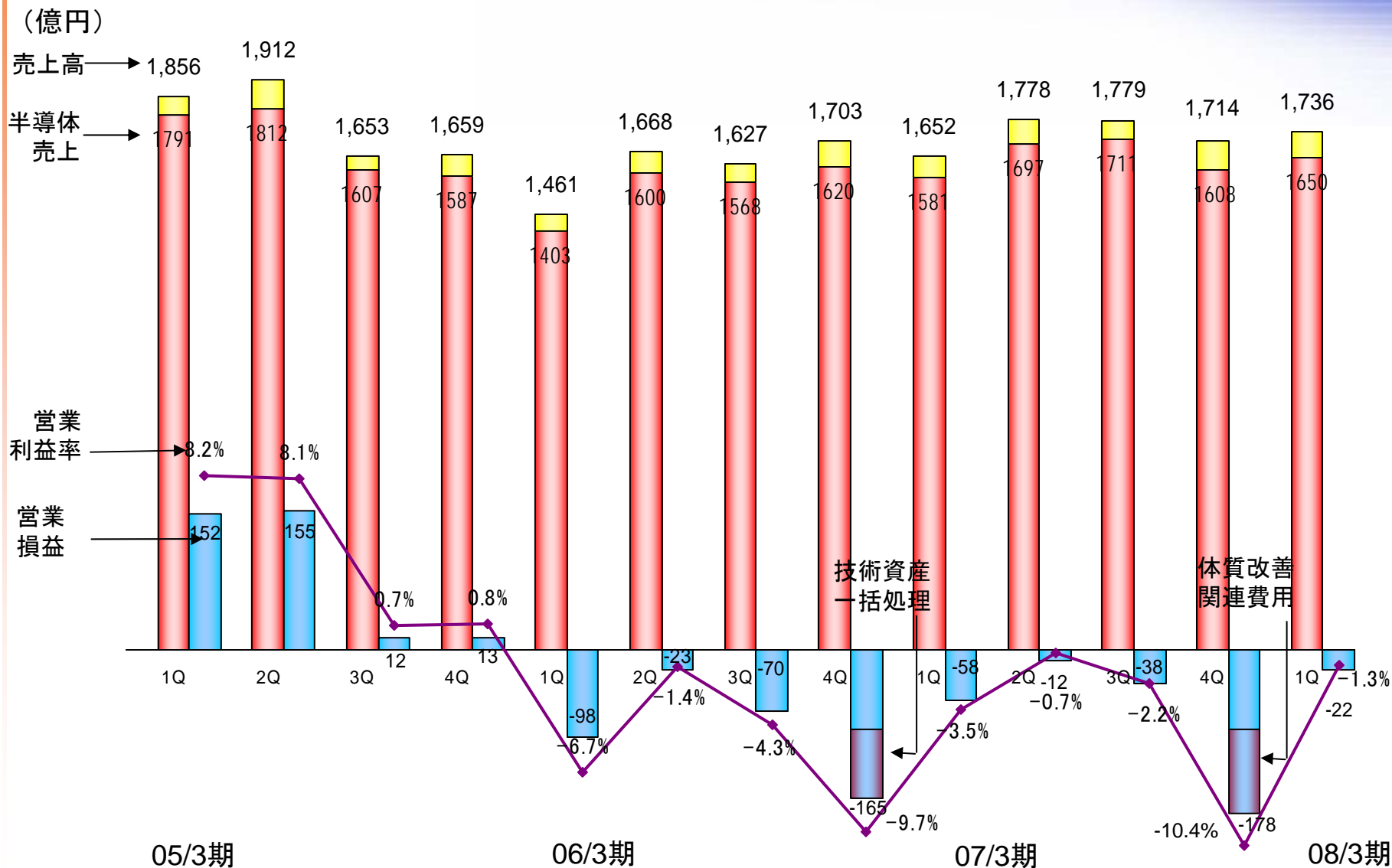
III. 業績改善に向けた取り組み

業績 サマリ

(単位:億円)	07/3期		08/3期		
	1Q, 6/30	4Q, 3/31	1Q, 6/30		
	実績	実績	実績	前年同期比	前期比
売上高	1,652	1,714	1,736	+83	+22
半導体売上	1,581	1,608	1,650	+69	+42
営業損益	△58	△178	△22	+35	+156
税前提損益	△48	△263	4	+53	+267
当期純損益	△61	△284	△13	+48	+270
フリーキャッシュフロー	△46	△176	△59	△12	+117
D/Eレシオ	0.49倍	0.51倍	0.50倍	-	-
株主資本比率	40%	38%	39%	-	-
為替レート	1US\$=115円 1Euro=142円	1US\$=119円 1Euro=156円	1US\$=119円 1Euro=160円		

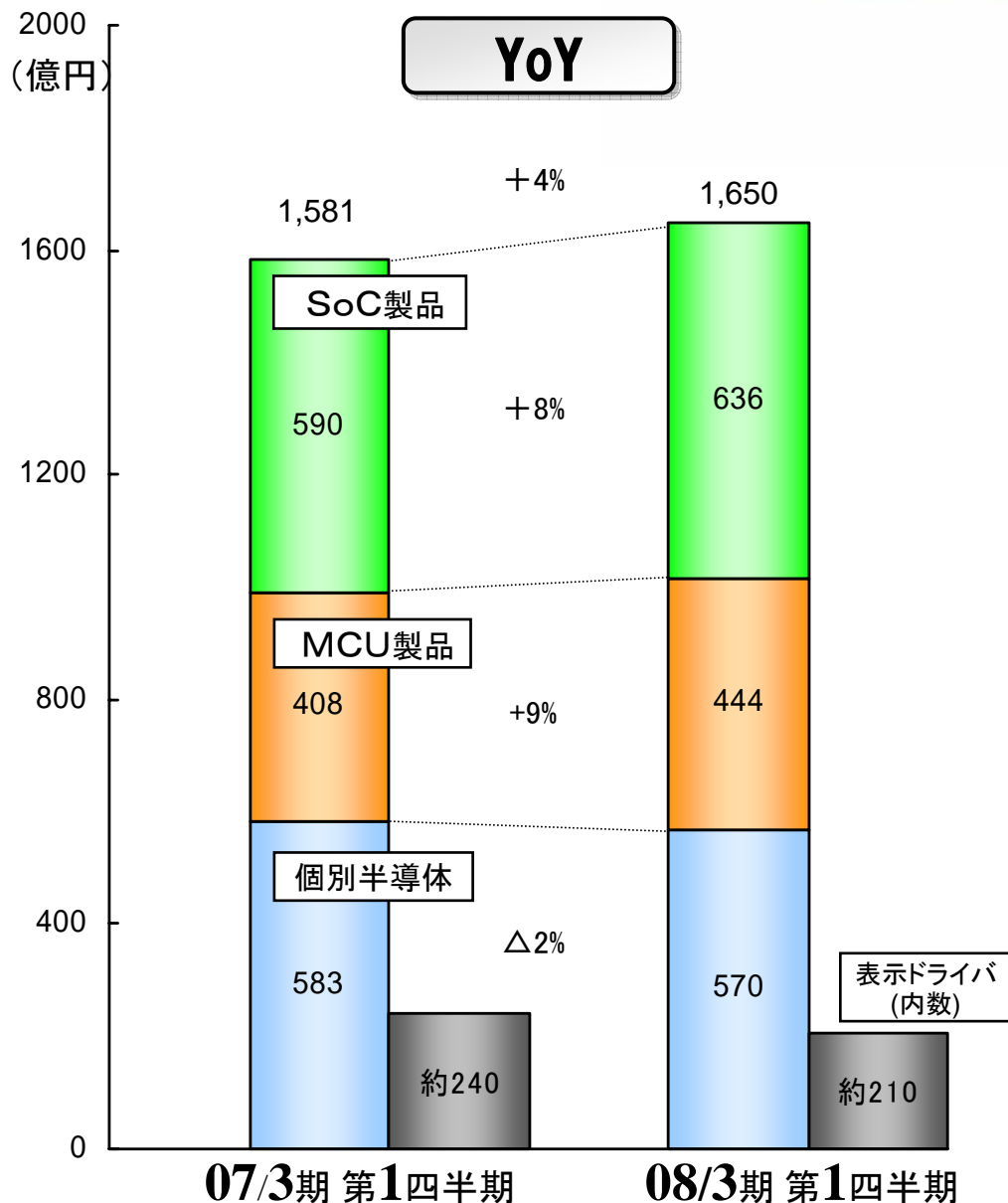
注: 当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです。

四半期別業績推移



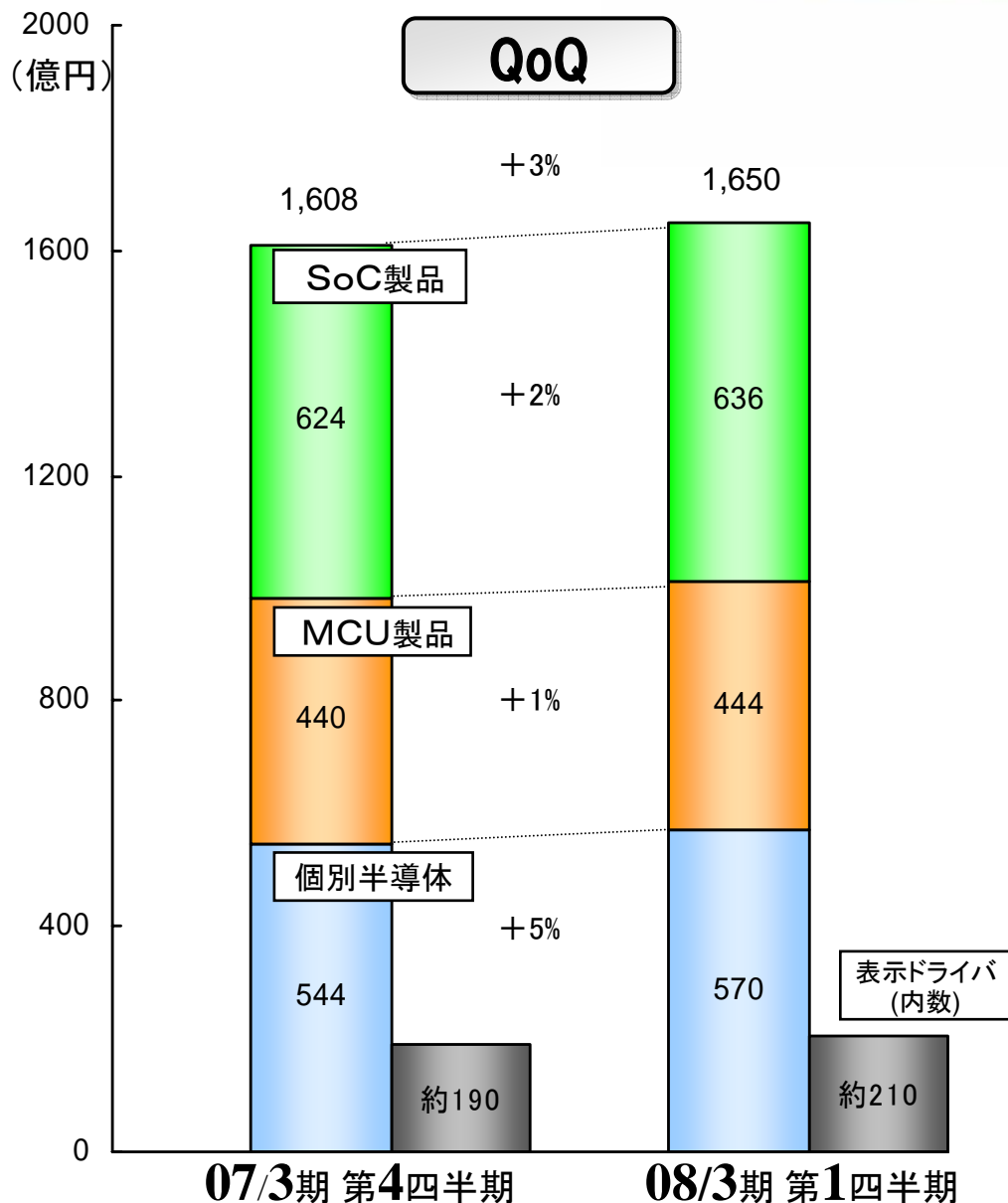
注: 当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです。

製品別 半導体売上高(前年同期比較)



主な変化要因	
SoC製品	+)ゲーム機器用LSI、 携帯電話用コンパニオンLSIの売上増 -)携帯電話向けメモリ、 デジタルカメラ用LSIの売上減
MCU製品	+)自動車向け売上増 +)オールフラッシュマイコンの売上拡大
個別半導体	+)大型LCDドライバ、 ディスクリート・化合物半導体の売上増 -)小型LCDドライバの売上減

製品別 半導体売上高（前期比較）



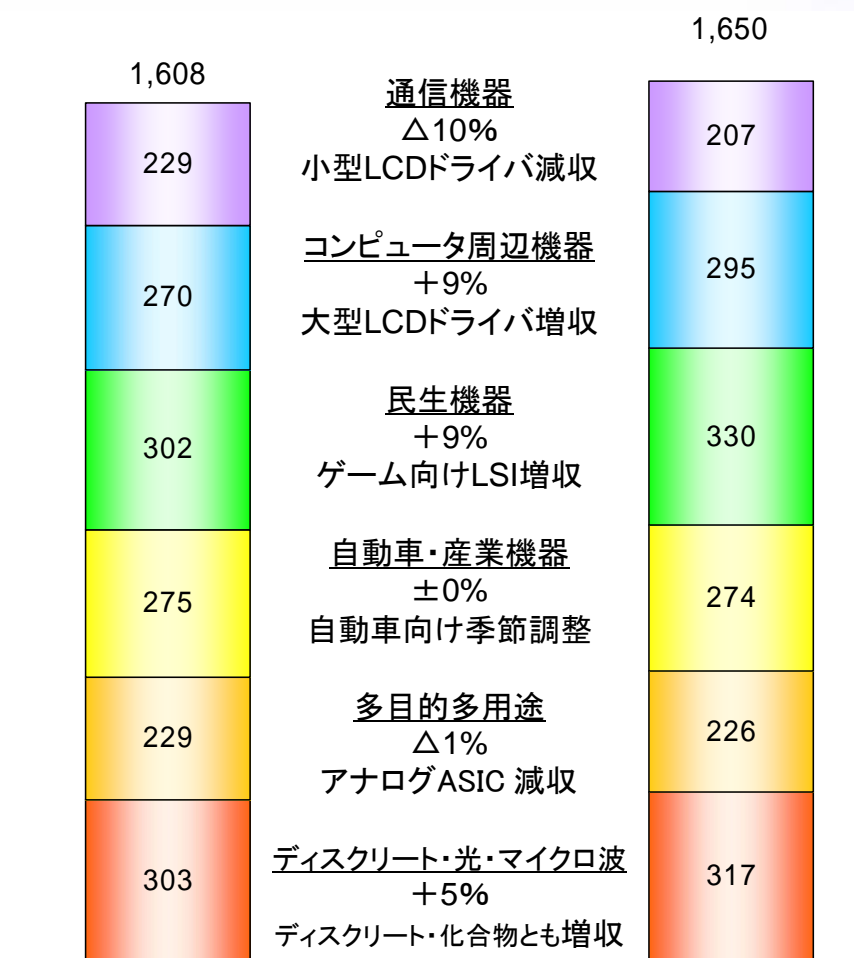
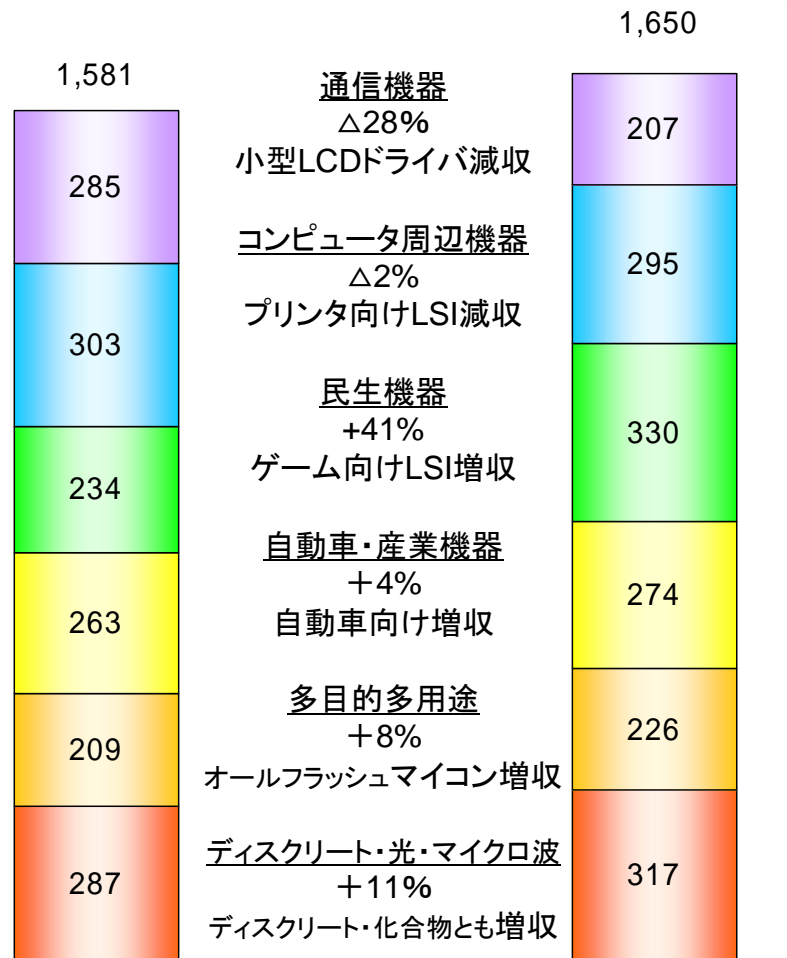
主な変化要因
SoC製品 +)ゲーム機器向けLSI、携帯電話コンパニオンLSIの売上増 -)携帯電話向けメモリ、デジタルカメラ用LSIの売上減
MCU製品 +)汎用マイコン売上増 -)自動車は日本市場ピーク後の季節減
個別半導体 +)ディスクリート・大型LCDドライバの売上増 -)小型LCDドライバは調整継続

分野別 半導体売上高

(億円)

YoY

QoQ



07/3期 第1四半期

08/3期 第1四半期

07/3期 第4四半期

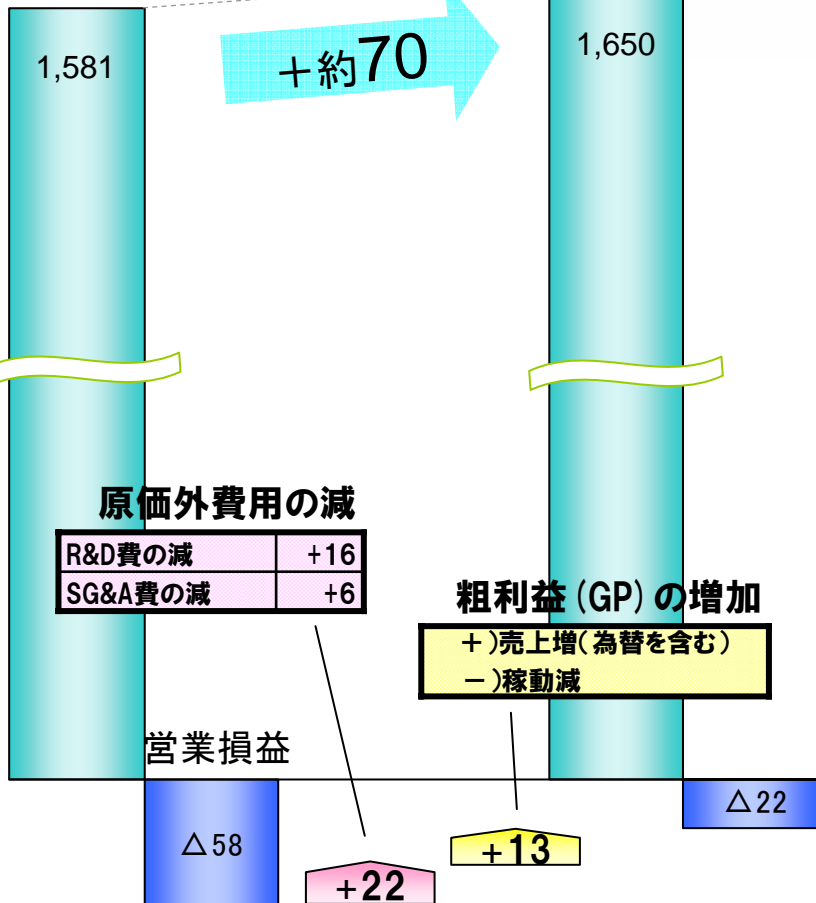
08/3期 第1四半期

営業損益の主な増減要因

半導体
売上高

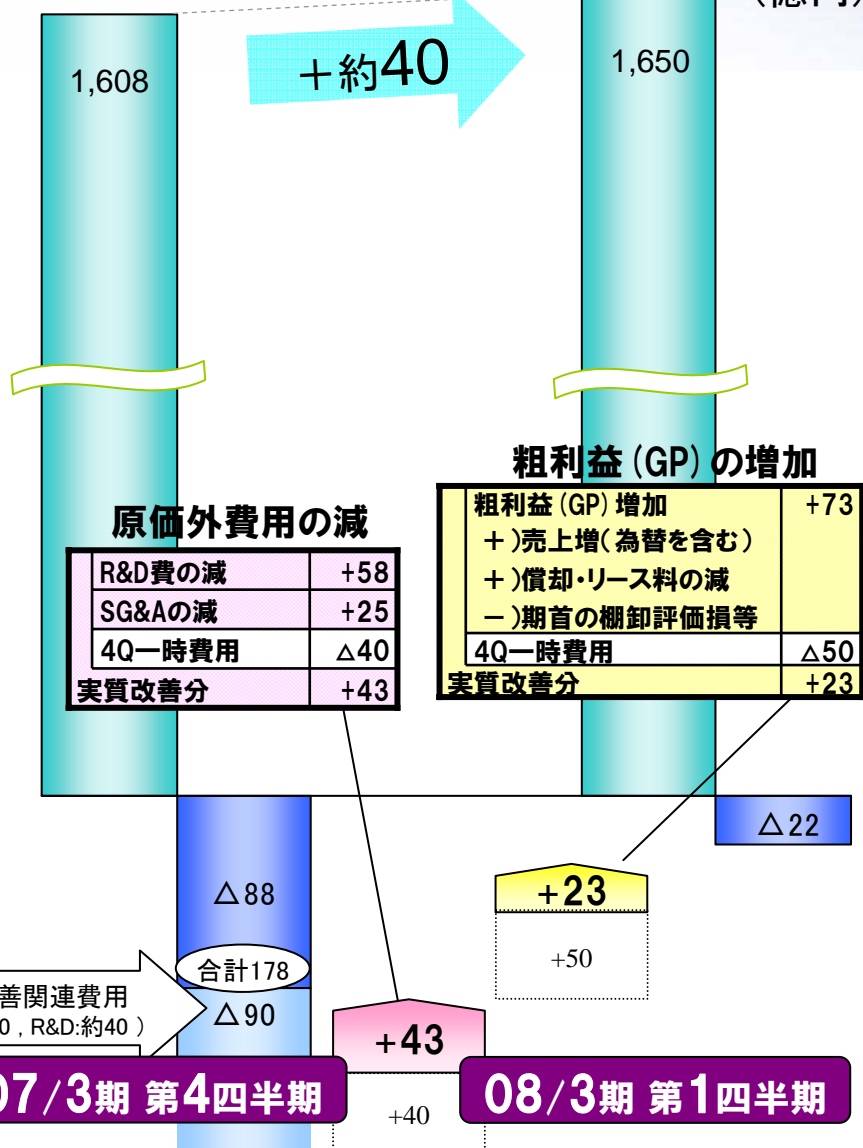
YoY

(億円)



QoQ

(億円)



07/3期 第1四半期

08/3期 第1四半期

07/3期 第4四半期

08/3期 第1四半期

営業外収益について

費目	金額	内容・補足	
受取利息および 配当金	5億円		
雑収益	32億円	マスク事業 譲渡益	<ul style="list-style-type: none">• 当社の子会社であるNECファブサーブの フォトマスク事業を大日本印刷株式会 社に譲渡 (2007年6月)• 新会社名: 「DNPファインエレクトロニクス相模原」
		その他	<ul style="list-style-type: none">• 遊休固定資産の売却• その他、為替差益等
営業外収益	37億円		

バランス・シート

(単位:億円)		06/6	07/3	07/6
現金および現金同等物		2,048	1,854	1,773
受取手形および売掛金		1,065	995	1,042
たな卸資産		761	826	834
有形固定資産		3,095	2,928	2,879
その他の資産		456	356	371
総資産		7,426	6,959	6,900
支払手形および買掛金		1,375	1,325	1,273
社債および借入金		1,466	1,360	1,337
その他の負債		1,551	1,575	1,555
負債		4,393	4,260	4,166
少数株主持分		41	48	47
株主資本		2,992	2,651	2,687
負債、少数株主持分および資本合計		7,426	6,959	6,900

D/Eレシオ(グロス)	0.49倍	0.51倍	0.50倍
株主資本比率	40%	38%	39%

<補足>

繰延税金資産	105	107	119
繰延税金負債	99	109	130

キャッシュ・フロー

(単位：億円)	07/3期			08/3期
	1Q	4Q	年計	1Q
営業活動により増加した キャッシュ・フロー	78	127	667	15
投資活動により減少した キャッシュ・フロー	△124	△303	△785	△73
フリー・キャッシュ・フロー	△46	△176	△118	△59

I. 2008年3月第1四半期 業績概要

II. 2008年3月期業績見通しアップデート

III. 業績改善に向けた取り組み

08年3月期 業績予想

第1四半期実績は想定を若干上回る水準であるが、現時点では前回業績予想(5月14日)を据置き

(単位:億円)	07/3期		08/3期		
	中間期	通期	中間期	通期	
	実績	実績	見込み	見込み	前年比
売上高	3,430	6,923	3,350	6,900	△23
半導体売上高	3,278	6,597	3,250	6,700	+103
営業損益	△69	△286	△50	0	+286
税前損益	△56	△354	△120	△100	+254
当期純損益	△74	△415	△150	△150	+265

為替レート	1US\$=115円 1Euro=145円	1US\$=117円 1Euro=149円	1US\$=115円 1Euro=150円	対US\$ 2円高 対Euro 1円安
-------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------

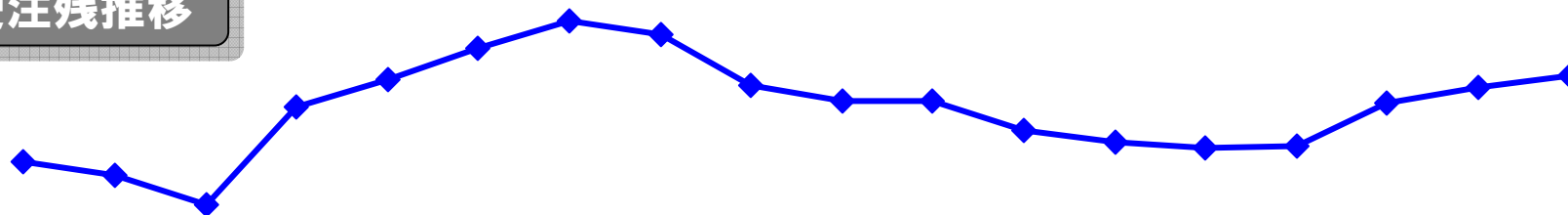
注1: 当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです。

注2: 予想は2007年7月30日現在

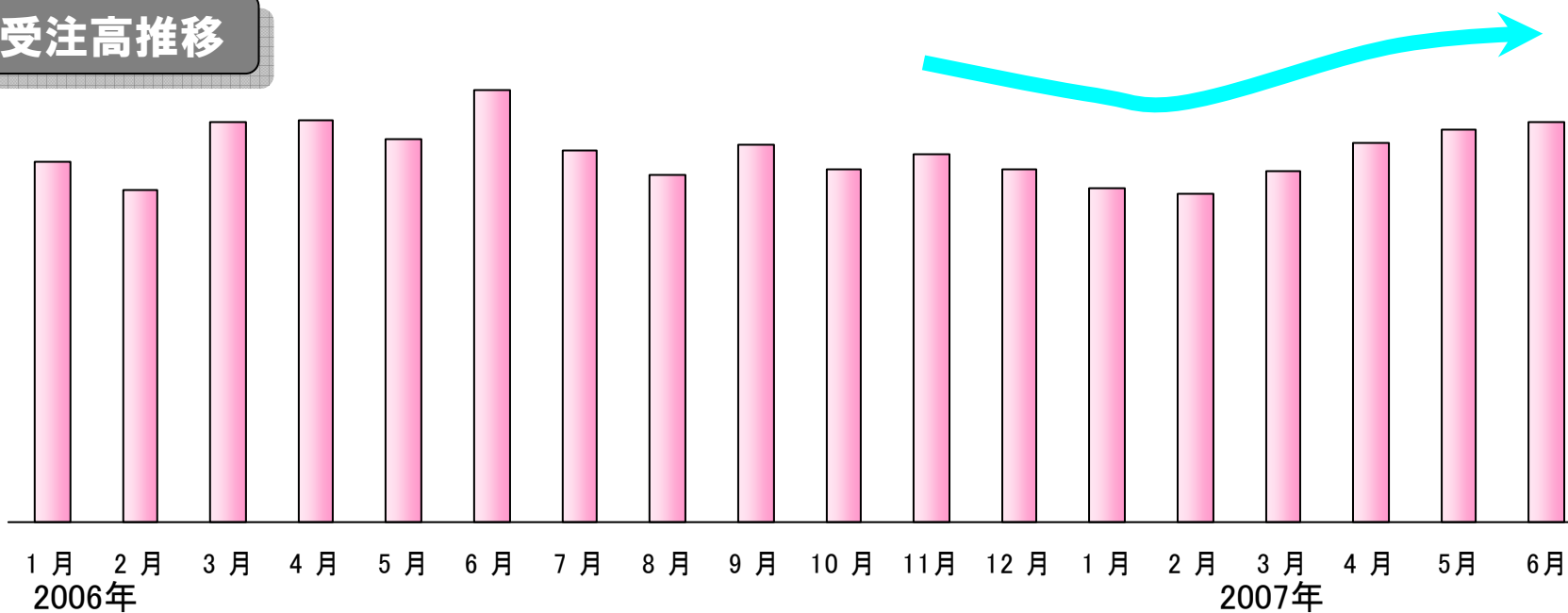
当社の受注残・受注高の推移

受注残・受注高とも底打ち、順調に回復

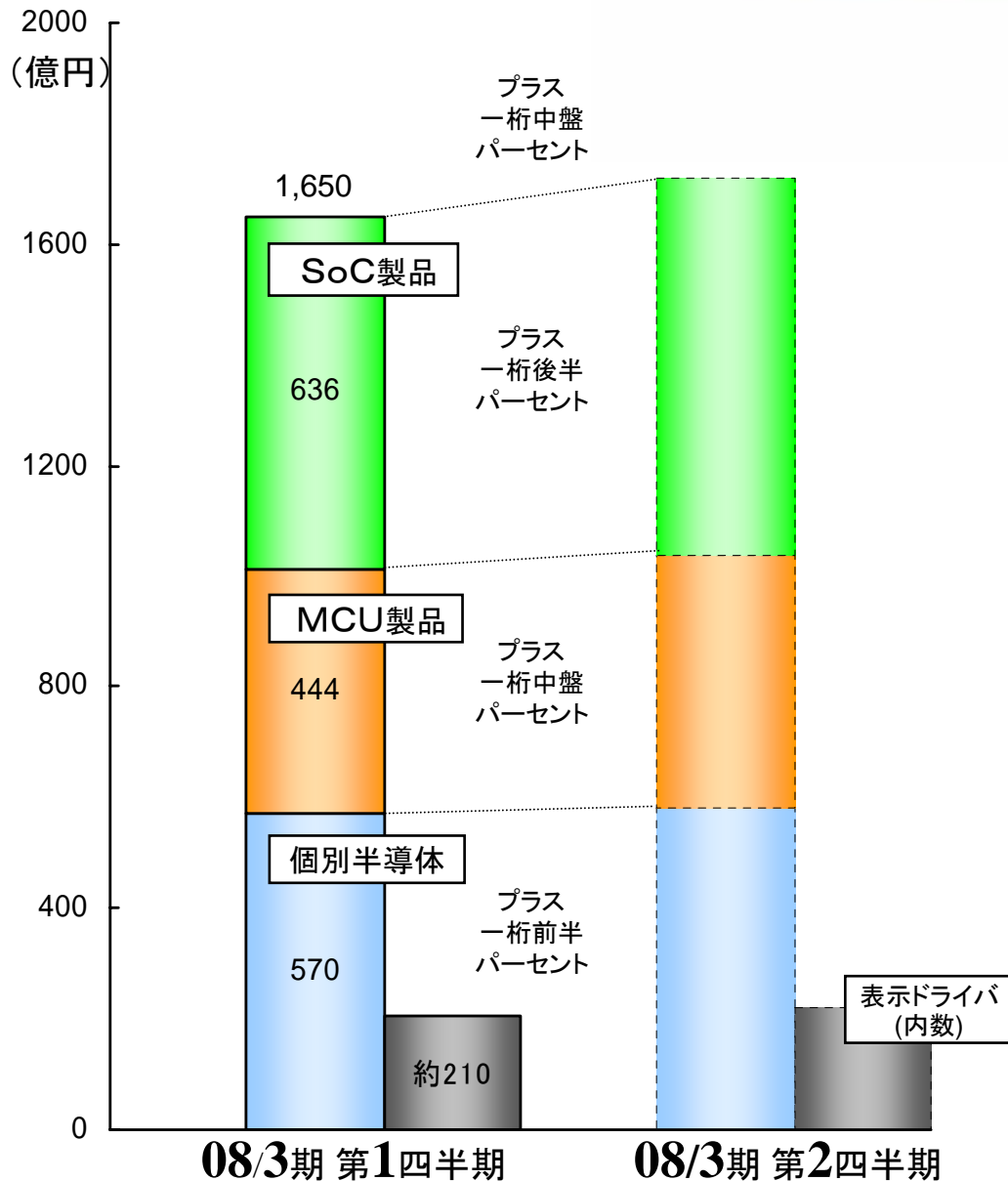
受注残推移



受注高推移



第2四半期半導体売上高見込み（前期比較） NEC



主な変化要因	
SoC製品	+) デジタルAV向けLSI 'EMMA'、プリンタ向けLSIの売上増 -) 携帯電話向けデジタルベースバンドLSI・メモリの売上減
MCU製品	+) 自動車・汎用とも売上増
個別半導体	+) 大型LCDドライバ、ディスクリートの売上増 -) 小型LCDドライバは調整継続

I. 2008年3月第1四半期 業績概要

II. 2008年3月期業績見通しアップデート

III. 業績改善に向けた取り組み

新経営方針 (2/22発表) の進捗状況

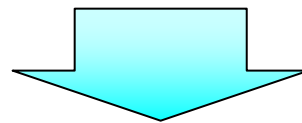
新経営方針に基づいた各施策を着実に実行中

項目	主な内容	進捗等
開発 ポートフォリオ 再構築	約600人相当の技術外注削減	済み
	約400人の社内開発リソースのシフト	約半数済み (今年度中に400名完了予定)
前工程 ライン再編	山形8インチライン 08年末までに稼働停止、設備移設	顧客通知開始
	九州6インチライン、関西6インチライン	8インチラインへの生産移管推進中
後工程 海外シフト	後工程海外比率目標 (数量ベース) 07年3月期:約45% → 09年3月期:約65%	順次実施中
事業組織体制	SoC、MCU、個別半導体の3事業をビジネスユニット化、 損益管理強化	済み
08年3月期 固定費削減	技術外注費削減、 設備投資等の削減による生産関連固定費減 人件費含むその他固定費削減	実施中 前年度比200億円削減予定

東京証券取引所の2007年7月10日付けのお知らせの内容

当社株式について、

- 前期末 (平成19年3月31日) 現在、少数特定者持株比率が75%を超えているため、
- 「株式の分布状況」(株券上場廃止)に係る猶予期間銘柄に指定
(猶予期間:平成19年4月1日～平成20年3月31日)



✓「上場制度総合整備プログラム2007に基づく上場制度の整備等について」
(東京証券取引所6/22)による新基準で当社株式は上記猶予期間入り銘柄指定から
解除される見通し

✓当社としては、基準変更に係る今後の状況を見極めながら上場維持に向けて
適切に対処

- **第1四半期実績は想定を若干上回る水準であるが、現時点では通期/中間とも前回業績予想を据置く**
- **実行ベースでは、受注拡大を背景に、第2四半期での営業黒字化を目指す**
- **2/22の新経営方針に基づく施策を着実に実行中**

NEC

NEC Electronics Corporation

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されている当社および連結子会社(以下NECエレクトロニクスと総称します。)の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)NECエレクトロニクスの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるNECエレクトロニクスの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてNECエレクトロニクスが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。